

九州・アジア/中国ビジネス研究会

第58回研究会開催案内

日時：2011年11月24日（木）午後6：30—8：30

場所：福岡市中央区大名1-9-48（財）九州経済調査協会6階会議室

講師：（株）九州食品流通科学研究所 社長 小林修氏

略歴： 神戸出身。1980年 神戸外大中国学科卒。同年三井物産入社、化学品・合成樹脂・物資などの部門を担当し、北京、大連、上海、台北の各海外事務所に合計11年勤務。2001年に退職し、独立、（株）声像を設立して社長に就任。2009年現在の会社名に変更。2006年～2008年林修商務諮詢有限公司（上海）総経理を兼ねる。中小企業支援機構国際化支援・海外販路拡大支援アドバイザー、福岡貿易会貿易アドバイザー。中村学園大学流通科学研究所客員研究員。長崎大学博士課程後期意思決定専攻（DBA）在籍中。著書に「中国人との交渉術」（明日香出版）、「中国語の宝石箱」（図書出版）、「古文観止 声読塾」（同）などある。

テーマ：「中国の食品流通産業と日本～最近の動向と九州企業の取り組み」

2008年9月、「毒餃子事件」と前後して、中国で発生した河北省三鹿集团公司による粉ミルクへのメラミン混入事件は、29万人の乳児や学校児童が腎臓結石の患者と認定されるなど、社会的に大きな問題となった。講師は中国の食品流通研究の第一人者で、中国の乳製品トップ3に入る上海光明食品とのビジネス交流も深く、中国の食品流通の動きを理解したうえで、日本の関係業界がどのように中国と付き合うべきかを提言している。また、今回は中国の食品流通ネットワークとトライアルやルミエールに代表される九州の食品スーパーのビジネスモデルを比較しながら、「アジア化」していく九州の食品流通市場の実態を明らかにする。併せて、東北大地震によって、食品サプライチェーンにおける食品包装資材企業及び流通企業が取った行動を分析し、食品関連企業の国際化戦略にどのような影響を与えるかを予想する。

会費：参加希望者は以下にお申し込み・登録の上、当日会場入り口で会費1000円をお支払いください。申し込み先：（株）アジアソリューション・中山芳美 宛

電話：092-741-9338

E-mail:yoshimi@asol.ne.jp

九州・アジア/中国ビジネス研究会

主催：一般社団法人 九州・アジアビジネス連携協議会